

スペイン語ガイドブック

比較級・最上級

■ 1. 比較級

1. 1 優等比較級

「より...である」という意味を表すために「más+形容詞・副詞+que」という構文を使います。que...が比較の対象を示します。

- Esta novela es más interesante que ésa.. // この小説はそれよりおもしろい。# novela 小説 interesante おもしろい
- Vivimos más cerca de la estación que ellos. // 私たちは彼らより駅の近くに住んでいます。# cerca 近くに estación 駅

1. 2 劣等比較級

「より少なく...である」という意味を表すために「más+形容詞・副詞+que」という構文を使います。que...が比較の対象を示します。

- Este coche es menos caro que el tuyo. // この車は君のより高価ではない。# coche 車 caro 高価な
- En verano amanece más temprano que en invierno. // 夏は冬よりも夜明けが早い。# verano 夏, amanecer 夜が明ける, temprano 早く, invierno 冬

1. 3 比較級の不規則形

(1) bueno 「良い」の比較級は×más bueno ではなくて mejor です。

- El estímulo suele tener mejor efecto que el castigo. // 刺激のほうが罰よりも良い効果をもたらすことが多い。# estímulo 刺激 soler ...の傾向がある efecto 効果 castigo 罰
- Esa pintura es mala, pero ésta es peor. // その絵はよくないがこれはさらに悪い。# pintura 絵

(2) mucho 「多い」の比較級は **más** です。これは規則的な形容詞（と副詞）の比較級で用いられた形と同じなので注意しましょう。poco の比較級は **menos** です。これも劣等比較級で用いた形と同じです。

- Este año hay más estudiantes de español que el año pasado. // 今年は去年に比べてスペイン語の学生が多い。# año 年 estudiante 学生 el año pasado 去年

(3) grande 「大きい」には mayor という特殊な比較級があります。これは抽象的な意味や年齢を比べるときに使います。具体的な大きさを言うときは **más grande** という規則的な比較級を使います。pequeño の比較級は **menor** です。これも具体的な大きさを言うときは **más pequeño** を使います。

- Pablo es mayor que yo. // パブロは僕より年上だ。
- Madrid es más grande que Barcelona. // マドリードはバルセロナよりも大きい。

(4) 副詞の不規則比較級

一部の副詞は独自の不規則な比較級をもちます。たとえば、bien の比較級は× **más bien** ではなくて **mejor** です。

原級	比較級
bien	mejor
mal	peor
mucho	más
poco	menos

- Estudio menos que mi hermana. // 私は姉ほどには勉強しない。# estudiar 勉強する, hermana 姉または妹

* mucho, poco の比較級である más, menos と一般の形容詞・副詞を比較級にする más, menos が同じ形になるので注意しましょう。

- Tú comes más que yo. // 君は僕よりもたくさん食べる。 # comer 食べる
- Tú caminas más lentamente que yo. // 君は僕よりもゆっくりと歩く。 # caminar 歩く, lentamente ゆっくりと

1. 4 比較の対象

一般に比較級で用いられる比較の対象は que で示しますが、次の場合は de で示します。

(1) 比較されるものが数量のとき。

- He leído más de diez libros. // 僕は 10 冊以上の本を読んだ。 # leer 読む libro 本

(2) lo que... という関係節のとき。

- Esta novela es más interesante de lo que crees. // この小説は君が思っているよりもおもしろい。 # novela 小説 interesant おもしろい creer 思う

(3) lo + 形容詞という名詞節のとき。

- Hace más frío de lo esperado en invierno en España. // スペインの冬は思ったよりも寒い。
- El tren ha llegado más tarde de lo previsto. // 列車は予定よりも遅く到着した。 # tren 列車, llegar 到着, tarde 遅く, previsto 予定の

(4) 比較の対象を否定語にすると「何(誰)よりも...だ」という意味で、最上級と同じ内容を示します。

- Este asunto es más importante que nada. // この件は何よりも重要だ。# asunto 件 importante 重要な
- Francisco es más serio que nadie. // フランシスコは誰よりもまじめだ。# serio まじめな

(5) 比較の対象を形容詞にすると「～というよりも…だ」という意味になります。

- Este libro es más útil que interesante. // この本はおもしろいというよりも有用だ。# libro 本 útil 有用な interesante おもしろい

(6) 比較の対象の que がないことが多いです。

- Más rápido, más rápido. // もっと早く, もっと早く。# rápido 早く

1. 5 比較の差

比較したときの差は比較級の前に置きます。

- Mi hermano es tres años mayor que yo. // 私の兄は私より 3 歳年上です。# hermano 兄妹 año 年

■ 2 同等比較級

2. 1 構文

「～と同じほど...である」という意味を表すために《tan 形容詞・副詞 como...》という構文を使います。

- La vida de aquí no es tan fácil como la de tu país. // ここでの生活は君の国ほどたやすくはない。# vida 生活 aquí ここで fácil 容易な país 国
- No he visto en mi vida un día tan frío como hoy. // 私は今日ほど寒い日を生涯見たことがない。# ver 見る vida 人生 día 日 frío 寒い hoy 今日

- No puedo correr tan rápido como él. // 僕は彼ほど早く走れない。
puedo < poder …できる, rápido 早く

★mucho の同等比較級は tanto

- Juan estudia mucho y tú estudias tanto como él. // フアンはたくさん勉強するが、君も彼と同じくらい勉強する。 # estudiar 勉強する

2. 2 同等比較級の否定形

同等比較級に no をつけて否定形にすると「～ほど…でない」という意味で《menos 形容詞 que …》と類似します。

- Mi ordenador no es tan útil como el tuyo. // 私のコンピュータは君のほど役に立たない。 # ordenador コンピュータ útil 役に立つ
- Mi ordenador es menos útil que el tuyo. // 私のコンピュータは君のに比べて役に立たない。

★同等比較級の対象を形容詞にする

同等比較級の対象を形容詞にすると、「…（形容詞）と同じように…（形容詞）だ」という意味になる。

- María es tan atractiva como inteligente. // マリアは魅力的であると同時に頭もよい。 # atractivo 魅力的な inteligente 頭がよい

* 《tan A como B》は「Bと同じようにAである」の意味でAに比重があるようにもとれますが、AもBも同じ比重であることのほうが多いです。

■ 3 最上級

3. 1 形容詞の最上級

(1) 名詞句に定冠詞がつけて、「最も～な…」という意味になる。

- Para mí, la paella es el plato más rico. // 私にとって、パエリアはもっともおいしい料理だ。# paella パエリア plato 料理 rico おいしい

(2) 形容詞に直接定冠詞をつけると「最も…である」という意味になります。

- Esta novela es la más vendida en esta tienda. // この小説がこの店で最も売れ行きがよい。# novela 小説 vendido 売られる tienda 店

3. 2 副詞の最上級

副詞には定冠詞を直接つけることができないので、《el (los, la, las, lo) que...》という関係代名詞を使います。《定冠詞+関係代名詞 … más + 副詞 (+ de...)》という構文です。

- Juan es el que más sabe de informática. // フアンがコンピュータのことを最もよく知っている。# saber …のことについて[de]知っている, informática 情報科学, コンピューター
- Lo que más me gustó de España fue la amabilidad de la gente. // 僕がスペインで気に入ったことは人々の優しさだ。# amabilidad 親切, 優しさ, gente 人々。

* 《lo más menos... posible》または《que poder の活用形》で「可能な限り…」という意味になります。

- Ven lo más pronto posible. = Ven lo más pronto que puedas. // できるだけ早く来なさい。# pronto 早く, posible 可能な, puedas < poder …できる

★定冠詞の代わりに所有形容詞で作る最上級

所有形容詞の前置形は定冠詞と同じように最上級を作ります。「所有」の意味が加わります。

- Este es mi cuadro más favorito. // これが私が一番気に入っている絵です。# cuadro 絵 favorito 気に入っている

3. 3 範囲

(1) 最上級で「...の中で」という意味の範囲を示すには **de** を使います。

- Lorca prestaba atención a las personas más marginadas de la sociedad.
// ロルカは社会の最も疎外された人々に注意を払っていた。# prestar atención 注意を払う persona 人 marginado 疎外された sociedad 社会

(2) 他に **en, entre, dentro de** などもあります。

- Entre los tres, esta novela es la más interesante. // 3冊の中で、この小説が最もおもしろい。# novela 小説 interesante おもしろい

★自明であれば範囲を示さないことも多いです。

3. 4 接尾辞 **ísimo** による絶対最上級

形容詞・副詞に **ísimo** がつくと「非常に...、とても...」という意味になって強調されます。これを「絶対最上級」といいます¹。

(1) 形容詞が母音で終われば、その母音をはずしてから **ísimo** をつけます。

- mucho 「多くの」 > muchísimo 「非常に多くの、莫大な」。

¹ 「定冠詞+más」は、「比較するものの中で」という相対的な意味がありますが、絶対最上級は相対化しないで、とにかく「非常に...」という意味になります。

(2) 形容詞が子音で終わっていればそのままつけます。

- fácil 「簡単な」 > facilísimo 「とても簡単な」.

*綴り字の規則に従います。

- blanco 「白い」 > blanquísimo 「とても白い」, largo 「長い」 > larguísimo 「とても長い」, feliz 「幸福な」 > felicísimo 「とても幸福な」

*一部の副詞にも ísimo がつきます。

- ¿Te gusta helado? -- Muchísimo. // アイスクリーム好き?—とても。 #helado アイスクリーム

*接尾辞-ble をもつ形容詞は-bilísimo となります。

- amable > amabilísimo 「とても親切な」

*母音が変化する形容詞があります²。

- nuevo > novísimo 「とても新しい」, cierto > certísimo 「とても確かな」

(4) その他の特殊な形の絶対最上級

- áspero 「荒い」 > aspérrimo 「とても荒い」, fiel 「忠実な」 > fidelísimo 「とても忠実な」, pobre 「貧しい」 > paupérrimo 「とても貧しい」, mísero 「哀れな」 > misérrimo 「とても哀れな」

スペイン語の質問

² *これらは-ue-や-ie-のまま最上級が作られることもあります。

- nuevísimo 「とても新しい」, ciertísimo 「とても確かな」

*** 比較級の不規則形 mejor, peor などは男女同形ですか？**

→男女同形です。男女で変化するのは o で終わる形容詞または地名から派生された形容詞, そして一部の án, ín, ón, or などで終わる形容詞です。ただし比較の意味がある menor, peor, interior, superior などは男女同形です。

*** 「7 は 5 より 2 大きい」という文章をスペイン語に訳すとどうなるのでしょうか？**

- Siete son dos más de cinco.
- Siete son dos más que cinco.

のどちらが好ましいのでしょうか？que と de の使い分けのルールからすると「数」なので前者のような気が私はするのですが, 確信が持てないので質問さしあげた次第です。あるいは, grande の比較級を使う場合,

- Siete son dos más grande de (que) cinco.
- Siete son dos mayor de (que) cinco.

はどちらがよりナチュラルなのでしょうか？私は, mayor だと主観的な大小をさすはずなので, 数字という客観的な大小比較には前者と思うのですが, スペイン語にある程度通じてると思われる人が mayor を使っていたので少々混乱しています。最後ですが, ser 動詞は son ではなく単数形の es は使えないのでしょうか？ El número 7 es ma's grande del nu'mero 5.とも言えそうですが, 足し算では 5 más 2 son 7 と son を使うようなので, 混乱してます。

→この文にはとても複雑な問題が含まれていると思います。結論から先に言えば Siete es más mayor que cinco con una diferencia de dos.がよいようです。(スペインの人から教えてもらいました。)まず cinco の前が que であることは, 「数量の場合は de」という原則とは違います。実は más de cinco という言い方は, 「5 という基準より多い」ということなので, このように純粹に両者(7 と 5) を比較するときにはふつうの比較構文

のように que を使います。más mayor というのも冗長に見えますが、ここではこれが自然です。そして「差」を示す表現はふつう Juan es cinco centímetros más alto que yo.のように比較の直前に置きますが、この場合は Siete es dos...という連続を避けるために上のような手段をとっています。

fin